



はが

令和2年 1月31日
No.53

おもてなしの心でたくましく育む

校長 城田 秀樹

おだやかな気候の中で新しい年を迎えた令和2年の正月。記録的な暖冬のため例年にはないあたたかな日が続き、季節外れの菜の花が咲いた知らせやスキー場にさえ雪が降らない様子を聞き、厳しい寒さや真っ白な雪景色が恋しくなるほどです。いつも皆様には、本校教育へのご理解と温かいご支援をいただきありがとうございます。本年も何とぞよろしくお願いいたします。

残念ながら、波賀小学校ならではの地域の特色を生かした行事である戸倉スノーパークでのスキー教室は、1月中は中止になりました。本来の日本の冬らしい気候が何よりよく、寒い季節には雪が降り、雪景色の中、子どもたちが楽しみにしているスキー教室が開催できるように祈るばかりです。

いよいよ今年の夏には、東京オリンピック・パラリンピックが、開催されます。きつと世界に誇る素晴らしい大会になることでしょう。東京オリンピック招致委員会のプレゼン



でのキャッチフレーズとなった『おもてなし』が、世界中から集まるみなさんへ形となって日本の各地でみられることでしょうか。5月には、ふるさと波賀の音水湖力又一場を舞台に、聖火リレーが計画されています。多くの声援を送り、盛大な聖火リレーとして子どもたちにとっても思い出に残るできごとにしたいです。

「おもてなし」とは、『見返りを求めず相手を敬い丁寧に接すること、相手のことをよく考えて行う上質な気遣い。』という意味ですが、私たちの身の回りには、大小限らずたくさんのおもてなしがみられます。

先日、登校中の児童がつまづいて転んで顔をすりむくけがをしました。近所の方が手当てをして、励まして、学校へ行かせてくださったそうです。このようなおもてなしに包まれ、波賀小学校の子どもたちは、学校生活を送ることができています。本当にありがたき感謝の言葉しかありません。

一見、子どもがつまづかないように障害となるものを排除することや、困難にあわないように取り除いていくことが大事な気遣いのように思われますが、たとえつまづいても転ばない体の強さや転んでも立ち上がる強さ、困難に遭ってもそれを乗り越えたくましさや身につけさせる方が、子ども

もを大きく大きく育てるには大切になってきます。子どもたちが成長する過程では、いろいろな苦労や心配になることが、目の前に立ちあはりますが、子どもたちのたくましい自立を願って応援をしていく「おもてなし」の心で大きく育んでいきたいと思っています。

思い出深い波賀町の小学校の校歌を掲示しています

波賀町のみなさんの母校の校歌を掲示しています。なつかしいわが母校、みなさんの胸にいつまでも残る幼きころに過ごした小学校の思い出今は、閉校にならなくなったり、姿がかわったりしていますが、心の中にはきつとたくさん思い出が残っていることでしょうか。素敵な思い出の残る母校の校歌を波賀小学校の玄関に掲示しています。道谷小学校・引原小学校・野尻小学校・野原小学校・波賀小学校、そして現波賀小学校の6校の校歌です。ふるさとの宍粟材を加工してつくった板材に、歌詞を記しています。



とてもきれいに仕上がりました。ぜひ、ご来校の折は、ご覧いただけます。ご来校をお待ちしています。

なお、歌声は宍粟市のホームページ「心のふるさと校歌保存事業」のページを開いていただくと、お楽しみいただけます。

2月の行事予定

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 4日 (火) 波賀中学校入学説明会 | 28日 (金) 新入生体験入学 |
| 5日 (水) あおぞら文庫 クラブ | 校報「はが」発行 |
| 7日 (金) 3・4年スキー教室 | 上ばき洗濯日 |
| 9日 (日) 市駅伝大会 | 3月 |
| 12日 (水) 読書ボランティア読みきかせ | 4日 (水) 茶話会 |
| 13日 (木) 貯金日・集金日 | 6日 (金) 6年生を送る会 |
| 14日 (金) 授業参観・学級懇談会 | PTA理事会引き継ぎ |
| 17日 (月) 小中出前授業 (2年生) | 11日 (水) 防災教育 |
| 20日 (木) 波賀小学校入学説明会 | 12日 (木) 貯金日・集金日 |
| 25日 (火) 小中出前授業 (6年生) | 13日 (金) 6年生体験入学 |
| 26日 (水) 読書ボランティア読みきかせ | 24日 (火) 第5回卒業証書授与式 |
| | 25日 (水) 修了式 |



波賀っ子5つの「あ」言葉

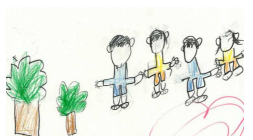


スクールニュース

お正月

1年

みつみねじんじゃに、はつもうでにいきました。山の上にじんじゃがあるの、のほるのに、たいへんだったけど、たのしかったです。ひみつのおねがいごとをして、かえりました。おせちもたべました。おいしかったです。



かにをたべた

1年

30日にかぞくでいっしょに、かにをたべにいきました。かにをたべて、とてもおいしかったです。大きな水そうに、かにがいっぱいはいていました。みんなでかにをたべて、たのしかったです。うれしかったです。



大しんさい

2年

1月17日は、はんしんあわじ大しんさいがあった日です。学校でひなんくんれんがありました。きゅうにほうそうが鳴り、つくえの下にかくれてからうんどう場にひなんをしました。ほくは、「お」は「し」「も」をまもって、ちゃんとひなんすることができました。しんさいは来てほしくないけど、もしあったときは、今日のくんれんのようににげたいです。はんしんあわじ大しんさいのような大きなしんさいがおきないでほしいなと思いました。



とんど

3年

ぼくの家の近くの畑で、とんどがありました。行ってみたら火がもえていてあったかかったです。習字で書いた「力だめし」をまよしました。竹がパンパンいってうるさかったです。竹の葉っぱがとんで、家の前までできてびっくりしました。〇〇くんがあとから来ました。待っていたらおもちゃがやけて、しょう油をかけて食べました。お兄ちゃんは来ませんでした。妹は来ていました。お兄ちゃんの書いた半紙を、ぼくたちがまよしました。妹は、自分でもまよしました。習字をまよしたので字がじゃょうずに書けると思いました。

おまいり

3年

自転車でお母さんとかわさきいなり神社に行きました。行きがけに、田んぼをしかが走っているのを見ました。すごいはやさで、どっかに走って行きました。びっくりしました。それから、神社におまいりしました。すいていたので、全部おまいりしました。そのあと、おみくじをひきました。ぼくは、すえ吉でした。大吉がよかったです。

それから、帰りました。おうふくで1時間20分くらいかかりました。帰ったらお昼だったので、おばあちゃんの作ったぜんざいを食べました。おいしかったです。

4年生は国語科の時間に、工藤直子さんの詩集「のはらうた」を学習し、自分たちも野原の仲間になりきって詩を書いたので、紹介します。

かたつむり おそろつ (4年)

ぼくは ゆっくりしかあるけない
だから まいにち
おなじばしょに いるみたい



でもちよつとは うじいている
どつやつたう
はやくうけらるさだまつ

そらからみた

けしき

(4年)

しゅんすけ

はるは ピンク
なつは みどり
あきは オレンジ
ふゆは しろ
ぼくがまいにち みているけしき
みんなにも みせたいなあ



オレは つよい

かぶとむし

つよそう

(4年)

オレは木で みつをすう
周りには クワガタやハチがいて
みつをねらっている
ここには来るな オレの場所だ
オレの方が 強いんだぞ
「あっちへ行け」と言う
ハチもクワガタも にげていく
そうしてオレは
のんびりと
のんびりと
みつをすう



がんばった

カルタ大会

5年

1月14日の5・6時間目に波賀中学校の体育館で「小中合同新春カルタ大会」がありました。ぼくは、百人一首は全く覚えていなかったけれど、カルタ大会があることを2学期の終わりに聞いて、冬休みの間に必死で覚えめました。でも、たくさんの人と一緒に札を取り合ったことはなかったの、とてもドキドキして本番をむかえました。1回戦は「そ」班と対戦しました。準備ができて場所に座りました。とてもドキドキしていることを中学生の子に話したら、「大丈夫。」という返事が返ってきて、ちょっと安心して自信も出ました。読まれる札を聞いてみると、どれも聞いたことのある歌で16枚も取る事ができました。「さ」班と対戦した2回戦でも、1回戦

と同じようにがんばると、15枚の札を取ることができました。合計31枚の札を取ることができました。そして、5年生では、ぼくが1位になることができて、とてもうれしかったです。

防災学習と避難訓練をして (6年)



25年前のこの日、神戸を中心に強い地震がありました。その地しんで約6000人以上の人がなくなると聞いたときは、すごく驚きました。毎年この日に防災学習をしているけれど、改めてすごく大きな地震だったんだと思いました。ぼくたちは、実際にこの災害を体験していないけれど、被災された方の気持ちの全てはわからないけれど、自分の家族や友だちがこんなひどい地しんにあうと思うと、とてもこわい気持ちになりました。だから、防災学習を真剣にがんばりました。クラスのみんなで緊急時に役立つ新聞紙スリッパを作ったり、算数では自分の家族の人数に合わせて必要な飲み物や食料を計算して、備蓄計画を立てたりしました。この勉強でいろんなことを学びました。夜寝るときもこれからはベッドの横にスリッパを常に置いておきたいし、しっかり水分や食料も用意しておいて、地しんが起きても安全にひなんできるようにしたいです。教室で阪神淡路大震災の実際の映像を見ると、今あんなにきれいな町が想像もできないくらいひどい姿になっていました。ひなんしている方々の話を聞いて、泣いている方もおられたし、食料がなくて困っている方もいて心が痛くなりました。防災学習をして、ぼくは、もっとしっかり災害に備えないといけないことに気づきました。5年前は地しんだっただけけれど、日本は地しん以外にもいろいろな災害があるので自分の命をしっかりと守っていききたいです。